

正福寺報

平成 30 年春彼岸号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

こころに花を

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゅ

陶芸家の河井寛次郎さんのお言葉に次のようなものがあります。

過去が咲いている今

未来のつぼみで一杯な今

皆さんは今、花を咲かせているのです。皆さん自身のその花は、今まで経験してきた総決算の自分が今、花を咲かせていらっしやるのです。と同時に、未来のつぼみが育ち始めていることを忘れないでください。この先、そのつぼみからどんな花を皆さんは咲かせるのでしょうか。

それには、「今、なすべきことを熱心に努める」ことが大切です。

過去、現在、未来へと続く過程で、「今、ここ」に全てがあるのです。一秒また一秒と過ぎ行く毎日ですが、言葉を変えれば、過ぎ行くか

らこそ、赤ん坊が大人になり、つぼみが花となるのです。そこには、はかない側面だけではなくて、何かを生み出し、成長させるといふ側面もありました。

過ぎ行く時の中で、今自分がすべきことは何でしょうか。愚痴を言うことですか？感謝をすることですか？遊ぶことですか？

つぼみとは、若い人のことだけではありません。誰もがつぼみを持っているのです。

ですから一週間後でもいい、一か月後でもいい、一年後でもいい、人から見向きされなくてもいい、小さくてもいい、未来へとつながるこの今を大切に、今、なすべきことを熱心に努めて、息を始めたばかりの皆さんがお持ちのつぼみをしっかりと育んでいただき、未来の自分にもこころに花を咲かせたいものです。